



ごとう通信

第135号

平成24年3月1日

いよいよ三月です。今年は待ちわびていた方も多はず。昨年はいよいよ春のおとずれと思った矢先の大地震。日本中が沈み込んだ三月になってしまい、お花見も当然自粛ムード。もちろん桜がそんな情勢を知る由もなかったのですが、神田川の桜が勢いなく見えたのは僕だけでしょうか。

まだまだ被災地が落ち着いたわけではありませんが、あれから一年、もう一度春のやり直して感じですね。今年には心地よく、気持ちよく春を迎えたいものです。

さて、先月行われた東京マラソン、テレビでご覧になっ

た方もおられるでしょうが、

天候にも

恵まれ、盛

大に開催され

ました。僕は今

年も（！）抽選

にもれていま

したので医療支援ランナーとして

「医師」と書いたベストを着てゆっ

くり走ってきました。ご存じのよう

に途切れない応援の中、本当に気持ち

良く走ってきました。中には「ドク

ターがんばって！」などという声援

も。

ただ、怖いのは体調の変化です。僕

は遭遇しませんでした。三万人以

上も走っていると、突然倒れたりす

る方もいるんです。その場で回復す



る程度ならよいのですが、手術が必要であったり、後遺症が残ると本当に残念です。楽しい大会は全員が楽しい中で終わりたいものです。

これから走るのも気持ち良くなるシーズン。ぜひ来年の東京マラソン目指して走ってみませんか！

在宅医療推進

突然このようなタイトルにするととても社会的な展望論が始まりそうですが、そんな話は一切できません！もっと柔らかい話です。

新聞でも話題になったのですが、医療費の改正で在宅医療を推進する方向が打ち出されました。それ自体は一つの方向で良いと思うのですが、そのためには何をするのかというこ